

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5 年 5 月 15 日

事業所名 放課後等デイサービス ぱびぷぽぽ

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3	2		死角が多いので見回り、点検の徹底。	活動スペースは分けているが、日によってスペースが狭く感じてしまう事がある。個々に合わせた空間が提供できる様に工夫しています。
	2	職員の配置数は適切である	2	3		指定基準を遵守している。	配置数は適切だが、男性スタッフの確保が難しく、場面によっては必要性を感じる。今後、スタッフの採用を積極的に行っていく。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	5			スロープ・手すり等配慮されている。	バリアフリー化されているので、事故がない様に安全に配慮し支援していく。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5			スタッフミーティングを行い意見交換や振り返りを行っている。	引き続き、ミーティングを実施し意見交換や振り返りを行いスタッフ間の連携を図って行きたい。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	1		アンケートでの意見をスタッフ間で共有し改善に努めている。	今後も保護者の意見を取り入れ、確実に業務改善に努めていきたい。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5			ホームページにて公開している。	ホームページに掲載し保護者様にも周知していきます。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5				第三者からの貴重な意見を聞きながら、多くの意見を取り入れ業務改善に努めていきます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4	1		年4回外部講師による研修会と定期的な研修への参加を行っている。	福祉に関する研修だけでなく、法律やリーダーシップ等の研修に参加することができています。
適切な支援の	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5				定期的にあセスメントを行い、支援計画書作成を行っています。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	1			アセスメントシートはあるが、スタッフ全員が把握してない為、再度周知し適応行動等の状況把握に努めていきたい。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5			平日は公園。土曜日は普段できない活動を取り入れている。	スタッフ全員で意見を出し合い、利用児主体の支援ができる様に努めています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	3	1	1	意見を出しマンネリ化しない様に工夫している。	スタッフで意見を出し合い、公園だけでなく、自然体験プログラムやイベント等を提供しています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5			長期休暇や朝から利用の時は、飽きがこないようにイベントを多く取り入れている。	長期休暇等は飽きがこないように、スタッフで連携しプログラムの強化を図っている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5			個々に状態に合わせて意志を尊重しながら適宜組み合わせている。	その日の状態が変わるため、個別目標と集団での目標を設定して行っている。

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
提供	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5			朝のミーティングにて充実して過ごせるように確認している。	朝礼にて日課の内容やスタッフの動きを確認している。ライン等での情報共有も行っている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	2	3		送迎後の少しの時間だが情報共有している。	気づいたことや気になった事があると、都度共有できている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4	1		日々の記録をスタッフで確認しながら記録している。	一人一人、個別支援計画に沿っての記録ができるように心掛けていく。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5			モニタの内容をスタッフ間で共有し、支援内容の見直しを行っている。	定期的なモニタリングを行い個別支援計画書の見直しを行っていきます。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	3	2		児童のニーズに合わせて提供できるような活動を用意している。	ガイドラインに沿った活動が行えるようにスタッフ間で共有している。

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5			普段から情報共有を行い、どのスタッフでも対応できる様にしている。	今後も管理者・児発管だけでなく、スタッフで情報共有しながら担当者会議に参加できる様にしていきたい。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5			送迎の際に担任との情報交換を行っている。	居残り問題が起こった場合でもスムーズに対応できる様に学校・保護者と連絡調整を密に行ってきた。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		4	1	現在、医療的ケアが必要な児童なし。	今後、受入した際にも対応できる様な準備をしていく。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	1	4		前に居た事業所から情報を貰い理解を深めている。	引き継ぎ書類を作成し、スタッフがしっかり把握できるようにこまめに共有して行きたい。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している			5		現時点で該当児童がいません。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	2		定期的な研修を受けている。	今後も専門機関との連携を大切に、研修会に参加していく。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		5		コロナ禍もあり、交流できていない。	今後は積極的に交流する機会を増やして行きたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		5		なかなか機会がなかった。	コロナの状況を見ながら、幅広く参加する機会を増やしていく。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5			送迎時に事業所での様子を話したり、コミュニケーションをとる様にしている。	連絡帳・メール・電話等にて状況を伝えている。少しでも気になる点があれば、送迎時に保護者へ伝え、課題等を共有し次回の支援に繋げていく。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っている	5			子育てサロンとして親との勉強会を行っている。	コロナの影響で出来てなかった、BBQや子育てサロンを再開し保護者との交流の場を設けて行きたい。	
保護者への説明	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4	1		契約時に説明は行ってるが、分からない事は後日、説明している。	引き続き、伝わる様にしっかり説明を行って行きたい。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5			連絡帳や電話・メール・ラインを活用いつでも助言できる様にしている。	発達支援等に関する講演会や勉強会があれば、保護者への案内も積極的に情報提供していく。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	3		父母会はないが、子育てサロンとして親同士の意見を交換する場を提供している。	今年度は、BBQなど積極的に保護者交流会や悩みの相談会を行って行きたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5			苦情があった際は、直ぐにミーティングを行い問題解決に努めている。	苦情があった際には、事業所だけではなく法人にも報告し早期の苦情解決に努める。

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
責 任 等	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5			毎月のお便りでお知らせや活動予定等を発信している。	今年度より、連絡帳アプリの導入を行う為、活動予定や情報等をより良く発信できる様にして行きたい。併用しラインやメール・電話等でも発信していく。
	35	個人情報に十分注意している	5			鍵付き棚にて保管している。	事務所内に児童が出入りすることもある為、ファイル等が置きっぱなしにならない様に気をつけていく。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4	1		口頭で伝えたり、手話・筆談等で意思の疎通を図っている。	タブレットを使用したり、ホワイトボードを使って視覚化し意思の疎通を図って行きたい。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		2	3	コロナ禍の為、出来ていない。	現在、地域住民を招待しての事業は行ってないため、今年は地域に根付いた支援ができる様にして行きたい。

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	3	2		マニュアルを策定し事業所内に掲示している。	スタッフへの周知は出来ているが、保護者への周知が難しいため、緊急時や防犯等のマニュアル周知を保護者へできてない為、
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5			年に2回避難訓練を実施している。	引き続き実施し、万が一に備えておきたいと思えます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5			定期的に虐待防止の為の研修会に参加している。	定期的に研修会に参加し適切な対応を学び、スタッフ全員へ共有し徹底して行きたい。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	3	2		契約書や重要事項説明書に記載している。	利用開始時に個別支援会議を開催し保護者への対応を確認し、児童の適性を理解するようにしていく。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	1		アレルギーに対してのアセスメントを取り対応している。	定期的アレルギーに対するアセスメントを取り、おやつ等には十分気をつけていく。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5			ひやとした事・些細な事でも記録に残しスタッフで共有している。	事業所内外・送迎時等ちょっとした気づきをスタッフ全員で共有し直ぐに対応策を練っている。